

「田んぼの楽校2008」
佐護小中学校の児童生徒39名が田植え体験



過疎や高齢化により農地の維持管理が困難になる中、地域ぐるみで「農地・水・環境」を守ろうと地元地区やPTA、育成会らで立ち上げられた佐護地区資源保全活動隊が5月29日、「田んぼの楽校2008」を開き、佐護小中学校の全校児童生徒39名が田植えを体験しました。

子どもたちに農業の魅力や田んぼの生態系について学んでもらおうと実施されたもので、校舎横の地元農家の田

んぼを利用して行われました。

裸足になり、おそろおそろ田んぼに入った子どもたちは、農家の人から手植えの方法を教わりながら、ぎこちない手つきで苗を植えていました。小学生の中には、転ばないように中学生の手を借りながら一緒に田植えを楽しんでいた児童もいました。子どもたちは「田植えは大変だなと改めて思った」と感想を口にしていました。今後この田んぼでは、雑草取りや稲刈り、生物や野鳥の観察など年間を通して活動が実施される予定です。



田植機の運転に挑戦する中学生

隠れた対馬の名所を巡る

対馬 HOT SPOT



鳥帽子岳 (豊玉町)

鳥帽子岳展望台からの眺望

ることがあります。水面がおだやかで複雑に入り組んだりアス式の海岸線が四方を囲んでいるように見えるからでしょう。そんな浅茅湾では多くのブイを見ることができず。これは、真珠の養殖棚です。波静かな特徴を活かし真珠養殖が行われています。

また、遠くを眺めると山々が連なり、北南の突端を見ることができないため、「ここからの眺めでは島の実感がありませんね」と言われることがあります。対馬は、佐渡ヶ島、奄美大島に次いで3番目に大きい島です。このように言われるのも納得できます。

さらにここは朝日や夕日を見る絶好のスポットでもあります。その幻想的な光景を眺めるだけでも対馬に住んでいて良かったと思えます。

対馬市役所観光交流課

0920(53)6111

FAX 0920(53)6122

メールアドレス

asightseeing@city-tsushima.jp

鳥帽子岳展望台は、対馬で唯一360度をぐるりと見渡せる展望台です。ここからは浅茅湾が一望でき、天候などの条件が良ければ韓国の巨済島を望むことが出来ま

す。観光などで訪れる島外の方々を展望台に案内したとき、目に飛び込んでくる浅茅湾を見て「これは湖ではないのですか？」と驚かれ